

『みんなのスポーツ』10月号 (No.497) から学ぶ

林 但

平素より協議会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

表記、公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合機関誌の10月号は「アウトドアスポーツによる 子どもの成長と家族」の特集号です。

私の視点で気づいたこと・参考になる点を2点記載します。



- (1) 巻頭言「アウトドアスポーツの可能性を見直そう」栃木県の伊藤さん「アウトドアスポーツの中でもキャンプやハイキングは初心者でも、小さなお子さんたちでも参加しやすい特徴がある」その通りだと考えます。振り返ってみると私も25年位前に会社で希望して教育・研修の担当になってから、横浜市野外活動指導者養成講座受講、日本キャンプ協会ディレクター1級の資格を取り、横浜市や横須賀市で小学生や家族などを相手に毎年40日近く活動をしていました。非日常的な世界であり学ぶことや気づくことも多いと感じています。今回取り上げられ嬉しく思います。
- (2) ペップトーク ここ数年注目して読んでいます。また、機会をとらえて研修に参加して学んだり、学んだことを実際に使ったりしている。中々直ぐには結果や成果は出ない。文中にある「相手との信頼関係を築くことが大事」という言葉が身に染みる。自分で考え行動、相手の今の状態はどうかなども考慮して接していけば相手に理解が得られるように根気よく取り組んでいきたい。
- 事例として、あのWBC決勝戦を迎えた日のスタメン発表の場で、幾度となく難局を乗り越え、選手たちを信じ続けた栗山監督の次のような言葉が含まれていました。
- 「日本のこのチームを作る時に…メジャーの凄い選手が出てくること想定で、それをやっつけたい思いがあって…みんなに来てもらいました」**これを聞いた選手は、もうやるしかないでしょう！！究極の存在承認 みんなが燃えました。(中略)
- 野球って勝ち負けだと思っていて…勝ち負け以上の価値観を持っていたけど、こんなに勝ちたいと思ったことは生涯のうちでもあません。その強い思いと選手を信ずる心が、言葉を受け止める選手たちには世界一の存在承認になっていたように思いました。

今月号では2つの事に記載致しました、知っていることが多いと思う方もあるかもしれませんが、気づいたことのできることから始めて(行動)みませんか？

* 本冊子は有益で私たちの活動のヒントや答えがあるように私は思います。年間購読されなかった方は、個別にも購入はできますので一度読んでみてください。問題意識や感度を高めていくと紹介されている事例が使える場合とこのままでは使えないがこうすればできる。こんな方法もあるなど感ずると思います。是非一緒に取り組んでいきましょう！

以上